

第52回近畿地区国立大学体育大会（体操競技）実施要項

〔1〕競技日程 平成26年8月9日（土） 公式練習日：8月8日（金）

〔2〕競技会場 西宮市立体育館

〔3〕種目 男子6種目、女子4種目

男子・・・ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒

女子・・・跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか

〔4〕競技次第

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| 1. 開会の辞 | 競技委員長 | 10:00～ |
| 2. 優勝杯返還 | 前回優勝校 | |
| 3. 競技上の注意 | 審判長 | |
| 4. 競技 | | |
| 5. 競技終了 | | |
| 6. 成績発表 | 審判長 | |
| 7. 表彰 | 競技委員長 | |
| 8. 閉会の辞 | 競技委員長 | |

〔5〕大会役員

競技委員長	増本 康平（神戸大学）
専門委員	古和 悟（大阪教育大学）
総務委員	高久 和也（神戸大学）
	大内 昭吾（神戸大学）
	山本 幸夫（神戸大学）
	藤本 一光（神戸大学）

〔6〕競技役員

審判長	兵庫県体操協会
審判員	兵庫県体操協会

〔7〕学生役員

学生委員	松本 啓佑
総務係	坪田 一総
受付係	雛本 樹生
記録係	安西 宇宙
放送係	伊東 慧

（神戸大学）

〔8〕実 施 要 項

1. 参加申込

- (1)締切期日 平成26年6月16日(月)必着
- (2)申込先 〒650-0017 神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学学務部学生支援課 生活支援グループ課外担当
(TEL:078-803-5224 FAX:078-803-5209 mail:stdnt-kagai@office.kobe-u.ac.jp)
- (3)参加資格 (ア)本大会規程第13条適用
(イ)選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。
- (4)参加人数 1チームは3~4名をもって構成し、各大学男女とも複数チームの出場を認める。ただし、団体の表彰対象となるのは、最も成績の良いチームとする。
- (5)申込方法 所定の依頼方法(参加申込)により提出すること。
- (6)派遣審判員 3名以上出場の大学は1名、6名以上出場の大学は2名の審判員を派遣すること。なお、審判員の派遣ができない場合には1名10,000円で本部に依頼すること。

2. 競技方法

- (1)試合規則 男女とも本大会の競技規定に基づくものとする。
- (2)得点 団体得点は、各種目上位3名の合計得点とする。
- (3)審判 本大会は3審制を採用し、少なくとも審判長及び主任審判は、大阪体操協会及び兵庫県体操協会に委嘱する。なお、大阪体操協会及び兵庫県体操協会に審判を委嘱できない場合や審判の人数が足りない場合は、2審制を採用する(選手には演技内容を自己申告してもらう。)

3. 表 彰 団体総合、個人総合、個人種目別、それぞれ3位までとする。

4. そ の 他

- (1)C・M会議は、8月8日(金)15時から行う。
- (2)選手の変更は、C・M会議で受け付ける。以後の変更は認めない。
- (3)会場の使用は、8月8日(金)12時からです。
- (4)試合会場の器具のセッティング・オフティングは12時30分から参加大学全員で行う。
- (5)選手は、ゼッケン(縦10cm×横12cmの白地)を付けること。
競技冊子の選手名簿に記載されている番号を、1cm前後のゴシック体で、「男子は黒、女子は赤」の楷書で記入すること。

試 合 規 定

1. 男子競技規則

*次に示すもの以外は、2013年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

(1) 終末技について

A難度・・・・・・・・・・ +0.10

B難度・・・・・・・・・・ +0.20

(2) 技の認定と難度の設定について

1) 下記に示す技は、2013年版採点規則とは異なる難度の認定および設定を行う。

ここに示した以外の振動から倒立位になる技は45°未満の場合、難度不認定となる。

【つり輪】

- ・ 屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪）：C難度
- ・ 屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪）：C難度
- ＊ 屈腕の減点およびその他の減点、伸腕の捌きと同一枠

【平行棒】

- ・ 前振りひねり支持45°未満：C難度
- ＊ 角度減点およびその他の減点、倒立位の捌きと同一枠
- ・ 逆上がり（棒下宙返り）直接腕支持：A難度（グループⅣ）

【鉄 棒】

- ・ 足裏支持回転（ひねり）倒立：A難度（グループⅢ）
- ・ アドラー45°未満：C難度
- ＊ 角度減点およびその他の減点、倒立位の捌きと同一枠

2) 下記の終末技はA難度とする。

つり輪、平行棒、鉄棒の前方・後方（かかえ込み・屈身・伸身）宙返り下り

3) あん馬の終末技について

- ・ 終末技として認められない場合は、やり直しを認める。
- ・ 倒立下りにおいて馬体をかけた場合や足先が馬体より下がった場合以外は難度を認定する。ただし、相応の実施減点がかせられる。

(3) 加点について

あん馬を除く5種目において終末技の着地が止まった場合、E審判によって0.10の加点を与える。

(4) 補足

- 1) つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において、1名の補助者をつけることができる。
- 2) チームに対するウォーム・アップ時間はチームに与える。
- 3) 「服装違反」については、個人に対する減点とし、D1審判により決定点から0.3の減点となる。
- 4) オーダーミスについては、個人に対する減点とし、D1審判により最初に間違えた選手の決定点から0.3の減点となる。
- 5) つり輪で着地マットの使用を認める。

2. 女子競技規則

*2013年版採点規則を以下のように部分変更する。

<短い演技>

D審判員は最終スコアから短い演技の適切な減点をする。

- ・ 6技以上の実施 = -0.00
- ・ 5技の実施 = -4.00
- ・ 4技の実施 = -5.00
- ・ 3技の実施 = -6.00
- ・ 2技の実施 = -7.00
- ・ 1技の実施 = -8.00
- ・ 技がない = -10.00

<A(0.10)の難度を認められる要素>

以下の要素は1技と数えられるが、構成要求には使用できない。

一段違い平行棒

- ・ 足裏支持前方回転(かかえ込み)
- ・ 足裏支持後方回転(かかえ込み)

一平均台

- ・ 伸身とび
- ・ かかえ込みとび
- ・ 前転
- ・ 後転

一ゆか

- ・ 前方倒立回転
- ・ 側方倒立回転
- ・ 後方倒立回転

<跳馬>

2回の跳躍を実施し、よい方のスコアを有効点とする。

○ 構成要求を以下のように部分変更する。

<終末技の原則> (一段違い平行棒、平均台、ゆか共通)

- ・ 終末技がない、あるいはAでの実施 0.00を与える
- ・ Bの終末技 0.30を与える
- ・ C以上の終末技 0.50を与える

<段違い平行棒>

1. 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技
2. 空中局面を伴う技(他とは兼ねられない)
3. 異なる握り(振り上げ倒立、開始技と終末技は除く)
4. 空中局面を伴わない360度以上ひねりを伴う技(中技のみ)

<平均台>

1. 180度開脚(前後/左右)または開脚屈身姿勢のリープ、ジャンプ、ホップを1つは含む、少なくとも2つの異なる技からなるダンス系の組み合わせ
2. ターン(グループ3)
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ(同一技でもよい)
4. 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技

<ゆか>

1. 1つは180度の前後/左右開脚または開脚屈身姿勢を持つ、2つの異なるリープ、またはホップ(難度表にある)で構成された直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入る)の組合せでの移動
2. 前方/側方と後方の宙返り
3. ひねり(1回ひねり以上)を伴う宙返り
4. 2回宙返りまたは2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン